

わが

「生涯を安心して過ごせる地域 完結型市政」の実現を目指して

はじめに

南魚沼市は、新潟県の南部に位置し、東は越後三山や巻機山などの2000m級の高峰、西は魚沼丘陵のなだらかな峰に囲まれ、中央を清流魚野川が流れる自然豊かなところでは、

古くから越後における関東からの玄関口として、ユネスコ無形文化遺産に登録された「越後上布」などの織物の産地として栄えてきました。現在、その面影は旧三國街道塩沢宿の姿を再現した「牧之通り」に見ることができます。近年は関越自動車道と上越新幹線という交通の大動脈が通り、交通・物流の中継地として大きな役割を担っています。

平成16年に大和町と六日町が合併して南魚沼市が誕生し、翌年、

塩沢町が加わり、現在の市の姿になりました。

全国有数の豪雪地帯であり、夏は盆地特有の暑苦しさとという厳しい自然の中で、逆にこの環境を生かし、工夫と努力を重ねながら、南魚沼産コシヒカリやスキー観光などの市の基幹産業を育ててきました。

先人たちから引き継ぐ 質実剛健の気質

NHK大河ドラマ「天地人」の主人公である直江兼続公とその主君上杉景勝公はこの地で誕生しました。兼続公が重んじた「義と愛」の精神は、今もこの地に受け継がれています。また、江戸時代に40年の歳月を掛けて雪国越後の風俗を綴った「北越雪譜」の著者である鈴木木牧之や、明治時代に私財を投げ打って上越線敷設に尽力した岡村

貢翁も本市の生まれです。

こうした先人の偉業に見られるように、実直で、義に厚く、粘り強く道を切り開いていくのが、南魚沼人の気質でもあります。

コシヒカリだけでは 南魚沼産の育成に意欲

魚沼産コシヒカリの知名度は抜群で、その中でも南魚沼産は特においしいとの評価をいただいています。しかし、近年のコメ離れや低価格志向などで、本市のコシヒカリにおいても状況は厳しいものがあります。南魚沼産としてのさらなるブランド強化を図るとともに、コシヒカリ以外の農作物、特産品の育成にも力を入れることで将来への展望を見いだしていきたいと思っています。

平成24年にオープンした道の駅



春を迎える三國街道塩沢宿牧之通り

基幹病院誕生を機に新たな 産業の創設を目指す

これまで、本市では工業団地を

造成し、製造業を中心に企業誘致を進めてきましたが、近年の経済情勢の中で、今までと同じ手法、方向性では苦戦しているのが実情です。これからは知的産業の集積に力を入れる方



平成27年開院予定の魚沼基幹病院(仮称)完成予想図

向で戦略を練っており、その一つが「メディカルタウン構想」です。

魚沼地域に待ち望まれていた救命救急医療や高度医療を担う基幹病院が、平成27年の開院を目指して、本市に建設が進められていますが、この機会を生かし、新潟県と協働で健康関連産業を誘致していくと取り組んでいます。

本市には、医療系の北里大学保健衛生専門学校もあり、今後はこうした病院や教育機関と連携できる企業や研究所を誘致していきたいと考えています。

スキーから自然を生かした 夏季観光へ、そして国際交流も

本市は日本有数の豪雪地帯で、

その雪を生かしたスキー観光で発展してきました。しかし、一時は約700万人いたスキー客も時代の趨勢で、今や300万人程度と減ってしまいました。そのため、以前からの課題である冬季以外の観光において、さまざまな分野でさらなる取り組みを進めています。豊かな自然環境を生かしたグリーンツーリズムの推進、農業体験ツアー、夏の鮎釣り、秋の紅葉狩り、温泉、おいしい地酒など今までの観光資源の充実はもちろんですが、南魚沼グルメマラソンや南魚沼コシヒカリトレイル駅伝などのスポーツイベントの充実も今後の大きなポイントです。現在、総合運動公園の整備を進めており、四季を通じて心身の「健康」「癒やし」をテーマとしたバリエーション豊かな交流人口の拡大を目指しています。

また、本市には約50カ国の学生が学ぶ大学院大学・国際大学もあるため、海外との交流も活発です。JICE(財団法人日本国際協力センター)の事業による海外学生の受け入れや、中学生海外派遣事業による米国オレゴン州との交流、ノルウェー王国リレハメル市、オー

プロフィール

- ◆ 面積 584.82km²
- ◆ 人口 6万858人
- ◆ 世帯数 1万9705世帯

〔将来都市像〕「自然・人・産業の和で築く安心のまち」

〔まちの特徴〕米うまき、「天地人」ゆかりのまちであり、大自然の宝庫、スキーリゾートとしても有名

〔市町村合併〕平成16年11月1日、大和町、六日町が合併して南魚沼市誕生。平成17年10月1日、塩沢町を編入合併

〔特産品〕コシヒカリ、八色スイカ、



南魚沼市長
井口一郎



八色しいたけ、日本酒(八海山、鶴齢、高千代、越後ワイン、織物(越後上布))
〔観光〕スキーリゾート(市内10カ所のスキー場)、六日町温泉、坂戸城址、八海山ロープウェイ、雲洞庵、牧之通り(三國街道塩沢宿)
〔イベント〕南魚沼市兼続公まつり、南魚沼市雪まつり、越後浦佐毘沙門堂裸押合大祭、南魚沼グルメマラソン

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

市民との協働の下 「人が輝く水と緑の交流都市」の実現を目指して

はじめに

小美玉市は、平成18年3月27日に2町1村の新設合併により誕生しました。東京都心から北東へ約80km、茨城県のほぼ中央部に位置し、北へ約20kmの距離に県都水戸市、南西へ約20kmの距離に筑波研究学園都市があります。また、南は日本で第2位の面積を誇る霞ヶ浦に接



霞ヶ浦から望む筑波山

しています。

市の西部をJＲ常磐線、国道6号線、常磐自動車道が貫き、こうした交通アクセスの良さから、多くの優良企業の工場が進出しております。南部は霞ヶ浦湖畔に特産のレンコンの蓮田が広がり、そこから筑波山を望む風景は素晴らしく、本市出身の故滝平二郎氏の「きりえ」にも描かれています。また、東部には航空自衛隊百里基地が所在し、平成22年に百里飛行場の民間共用化による茨城空港が開港し、神戸、札幌、沖縄への国内便のほか、上海など国際便も就航し、北関東の空の玄関としての役割を担っております。

基礎基盤の整備から新しいまちづくりへ

市制施行後、この春で7周年を

くりに参加しやすい仕組みづくりを整備し、市民活動の芽を育成していくための行政支援を実施してまいります。

地区コミュニティの育成などについては、「自分たちのまちは自分たちで創る」という住民自治の基本理念に基づき、小学校区を単位とする組織整備を推進しております。現在のところ市内12学区のうち7学区に組織が整備され、各地域において交流イベントの開催、防犯活動、環境美化活動など、さまざまな形で事業の展開がなされております。

また、まちづくり活動支援については、地域の課題解決に向け、市民それぞれが役割と責任の下で自主的に取り組む組織活動に対し「まちづくり組織支援事業」を実施しております。

本事業におけるまちづくり組織の認定、活動補助金交付の要件としては、「住民が知恵と汗を出し合って自主的に活動を推進しているかどうか、活動内容がまちづくり計画の内容に沿っているか」など公共的サービスの提供や補完と微として、活動補助金の交付に当

迎えます。この間、市民の皆さまが等しく合併の効果を楽しめるよう、また、一体化の醸成が図られるよう努めてまいりました。その一つが県内初となる自治基本条例の制定です。これは、本市の最高規範であり、「情報共有・参画・協働」の基本原則などを定め、市民によるまちづくりを推進するためのものです。この条例の制定により、市民の日条例・男女共同参画条例および推進計画・パブリックコメント規則・情報提供の推進に関する指針・まちづくり組織支援制度など、各分野での基本的な条例や計画が整備されました。今後のまちづくりについては、本市の有する特色ある地域資源や人的資源を生かしながら、総合計画の基本構想で示す将来像である「人が輝く水と緑の交流都市」を実現する

たつては、諮問機関としてまちづくり審査会を設け、申請内容を精査し、本会から答申を受けるという体制により交付決定を行っております。

結びに

今後大変厳しい財政運営が予想されますが、より一層無駄をなくし、コスト削減に取り組むとともに、常に費用対効果を考えなが

ため、現在策定中の後期基本計画に茨城空港周辺の「空の交流エリア」、JＲ羽鳥駅周辺の「陸の交流エリア」、霞ヶ浦周辺の「水の交流エリア」を中心とした市内の均衡ある整備を計画しております。

茨城空港と地域再生の展望

開港3周年を迎えた茨城空港は、首都圏の航空需要の一翼を担い、LCC(ローコストキャリア・格安航空会社)に対応できる空港として「人・モノ・情報」の新たな流れを生み出し、年間約100万人の来



平成22年3月に開港した茨城空港(これまでに延べ280万人が来場)

プロフィール

- ◆ 面積 145.03km²
- ◆ 人口 5万3652人
- ◆ 世帯数 1万9951世帯

〔将来都市像〕人が輝く 水と緑の交流都市

〔まちの特徴〕都心から80kmの通勤圏、南部は霞ヶ浦に面し、平坦な土地を生かした農業が基幹産業のまち

〔市町村合併〕平成18年3月27日、小川町、美野里町、玉里村で新設合併



小美玉市長 島田穰一



〔特産品〕乳製品(生乳)、鶏卵、レンコン、イチゴ、ニラ、ブルーベリー

〔観光〕小美玉市民家園、小美玉市希望ヶ丘(コスモス畑)、トキワ園芸農協花木センター、茨城空港(ターミナルビル)、タカノフーズ納豆博物館

〔イベント〕小美玉さくらフェスティバル、小川素鷲神社祇園祭、小美玉市ふるさとふれあいまつり、百里基地航空祭、小美玉発!スターなりきり歌謡ショー、市民の日式典(誕生祭)

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

地区コミュニティの育成とまちづくり組織活動支援

「人・もの・こと・歴史・文化」を改めて見つめ直し、本市の持っている魅力や誇り、宝物を市内外に発信していくものであります。

本市では、小学校区すべてのコミュニティの設立に向け、組織の醸成を図るとともに市民がまちづ

「市民が主役 市民が輝く知多市」を 目指して、市民との協働によるまちづくり

まちづくりの担い手の育成

知多市では、「市民が主役 市民が輝く知多市」を目指して、市民との協働によるまちづくり、地域づくりを進めています。「大人の学校」(まちづくり人材育成事業)は、団塊世代の方の大量退職が始まる平成19年に開校しました。これまで



まちづくり人材育成事業「大人の学校」

の社会で培われた知識・経験・技術を地域で生かしながら、仲間たちと自分たちの地域にお返し、貢献をすることが、いかに個人の人生を充実させるかを考える大切な気付きの場であり、「まちづくりの担い手」を輩出する「大人の学校」は、市内外から大変注目度の高い事業です。事業は知多市市民活動センターで活動する団体が連携して行っており、市民が市民を育てるユニークな人材育成プログラムとなっています。

平成24年度からはカリキュラムを大幅に見直し、「地域貢献実践コース」など様々な目的別のコースを創設しました。学習者が自分にあったコースを選択することで地域の人材が様々なまちづくりの分野で活躍する活動へと結びつけています。

人口約8万6000人のまちで 現役プロ野球選手が4人

4人は、平成23年度プロ野球セントラルリーグ最優秀選手賞などを受賞し、市民栄誉賞授賞第1号となった地元中日ドラゴンズの浅尾拓也投手をはじめ、セ・パ両リーグで本塁打王を獲得した山崎武司内野手、平成24年ドラフト1位指名で中日ドラゴンズに入団した慶應義塾大学の福谷浩司投手、読売ジャイアンツの小山雄輝投手です。OBでは、昭和62年ドラフト1位指名で阪急ブレーブスに入団し、プロ生活で通算56勝を挙げた、現阪神タイガースの伊藤敦規投手、二宮ゴーチがいます。現在、市内の小学生軟式野球チームは14あり、高校や大学、プロ野球で活躍する先輩が、後輩の野球少年たち

の目標になっている「プラスの連鎖」が、本市の野球レベルを引き上げています。今後も、本市のスポーツ振興の目的の一つである「夢と感動・競技力の向上」につながるような選手が現れることを楽しみにしています。

自治体間競争力の強化に向けて

本市臨海部には、エネルギー関連産業が、また大興寺工業団地には、航空機関連、自動車、工作機械などの産業が集積しています。本市のさらなる発展のため、浦浜地区工業用地等開発事業は、「工業振



企業誘致促進プロジェクト「浦浜工業団地」

興し雇用の場の確保し定住・交流人口の増加し市内消費の拡大し産業振興」という好循環を生み出し、これによってもたらされる税収の拡大をもって、市民サービスの向上へとつなげることを目的に、平成22年度に着手し、平成24年4月に竣工を迎えました。

迷などにより市税収入が毎年度減少し、行政経営は大変厳しい状況にあります。そのため、収支不足を早期に解消し、真に必要な市民サービスを継続できる行財政構造への転換を図るために、平成24年11月に、平成25年度から27年度までの3年間の目標を明確に掲げた「知多市行財政改革プラン2013」を策定しました。

このプランでは、改革のテーマを「歳入身の丈に合った住民サービスの最適化」とし、(1)事務事業の見直し、(2)施設運営の見直し、(3)人件費の削減、(4)受益者負担の適正化と収入確保の工夫という4つの

プロフィール

- ◆ 面積 45・76 km²
- ◆ 人口 8万6055人
- ◆ 世帯数 3万3528世帯

〔将来都市像〕笑顔つながる いきいき 緑園都市

〔まちの特徴〕西は伊勢湾、東は丘陵地、地形は平均してなだらかな平坦地で、四季を通じて温暖で住みやすいまち

〔特産品〕ペコロス、ふぎ、佐布里梅酒、



知多市長 加藤 功



知多蒸溜所特製グリーンウイスキー
〔観光〕愛知県下一の佐布里池梅林、岡田の街並み、新舞子マリナーパーク、ブルーサンビーチ
〔イベント〕尾張万歳、大興寺の開運福だるま大祭、佐布里池梅まつり、岡田春まつり、ビーチライフin新舞子、朝倉の梯子獅子

地域完結型医療体制の確立

本市および隣接する東海市で構成する「西知多医療厚生組合」では、地域完結型医療体制の中核病院としての役割を果たせる規模と機能、交通の利便性を確保した新病院を平成25年度から建設し、平成27年度の開院に向け、準備を進めています。新病院は、(1)充実した救急医療、(2)質の高い医療、(3)地域医療と医療連携の強化、(4)健全で安定した経営などのできる病院を目指しています。

知多市行財政改革プラン 2013の策定

本市では、近年長引く景気の低



愛知県下一の「佐布里池梅林」

結びに

本市が持続的発展を維持していくためには、人的資源や人々の知恵など地域経営の礎となる「地域力」を育み生かすことで、本市の価値や魅力を高める必要があります。私は、市民の皆さんのご理解とご協力のもと、「市民が主役 市民が輝く知多市」の実現に向けて、今後もしっかりとした市政の舵取りを行ってまいります。

※面積は国土地理院「全国都府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

豊かな自然がはぐくむ食とおもてなしによるまちづくり

南九州市の紹介

鹿児島県薩摩半島の南に位置する南九州市は、平成19年12月に揖宿郡額娃町、川辺郡知覧町、川辺町の3町が合併し、南九州市として歩み始めました。昨年12月には市制施行5周年を祝ったところです。

本市は、農業が基幹産業で、日本一の生産量を誇るお茶やさつまいもをはじめ、豊かな自然と温暖な気候に支えられ、鹿児島黒牛や黒豚、品質の高いさまざまな農畜産物が生産されています。

観光地としては、知覧武家屋敷群や東シナ海を望む海岸線など、さまざまな景勝地や旧3町から引き継がれているたくさんのお茶施設があり、多くの観光客にお越しいただいています。

日本最大の茶産地 信頼される産地づくり

合併により茶園面積は約3400haとなり、日本で最大の茶産地となりました。これまで、全国茶品評会などで産地賞や農林水産大臣賞を受賞するなど、品質面でも高い評価を得ています。

区画整理をされた広い農地を中心に茶園が広がり、大型管理機械による機械化栽培体系や加工の共同化などにより省力化が図られ、後継者も育成されています。

平成20年に茶業関係者の組織である茶業振興会の統合は図られたものの、合併以降も「額娃茶」「知覧茶」「川辺茶」として、旧町ごとに銘柄が分かれているため、知名度や市場価値を高めるためにも銘柄の統一が最も重要であることから、

平成28年を目標に全国的にブランドとして名の通っている「知覧茶」への統合に向け、取り組むこととなりました。

今後、生産、加工技術などの高位平準化をはじめとした課題解決が残されていますが、これまで旧町ごとに市の茶業担当職員を配置していたものを銘柄統一に向けて茶業課として1カ所に統合し、生産、販売、消費拡大などに取り組んでいく計画です。

全国的にお茶離れが進み、消費が低迷する中、日本茶をリードしていく産地として、茶業関係者と一体となって茶業の振興に取り組んでまいりたいと考えています。

産直施設 道の駅 「川辺やすらぎの郷」

道の駅「川辺やすらぎの郷」は、



南九州市のキャラクター「お茶むらい」

農畜産物を中心とした直売施設で、特産のお茶コーナー、地元農家が丹誠込めてつくった新鮮野菜や川辺牛、地鶏、地元産の大豆を使った豆腐やみそ、手作りのパン、素材にこだわった惣菜、菓子などをそろえ、併設のレストランでは、手打ちそばなど地元食材を利用した料理を提供しており、市内外からの買い物客でにぎわっています。

特攻の史実を 後世に残すために

本市には、太平洋戦争末期、沖

繩戦において、特攻という人類史上類のない作戦で、爆弾搭載の飛行機もろとも敵艦に体当たり攻撃をした陸軍特別攻撃隊員の遺品や関係資料を展示した知覧特攻平和会館があります。

ここには、特攻作戦で戦死された隊員の当時の真の姿・遺品・記録などが展示されており、この史実を多くの方に知っていただき、戦争のむなしさ、平和の大切さ、ありがたさ、命の尊さを訴えるとともに、これらを後世に正しく語り継ぎ、恒久の平和を祈念することが私たちの責務と考えています。



広がる茶園と機械化された茶摘み

平和会館には、県内外から多くの来館者が訪れ、小・中・高校生の平和教育の場として広く活用されています。

戦争を体験した方が次第に減少していく中で、特攻隊員が国を思い、家族を思い、出撃しなければならなかった心情を通して、二度と悲惨な戦争を繰り返さないために特攻隊員の貴重な遺品を世界記憶遺産登録に向けて、申請の準備をしているところです。

世界記憶遺産の登録は「世界恒久の平和」に寄与するとともに「特攻」の風化を阻止し、戦死された特攻隊員への深い慰霊および供養になると考えております。

交流のまちづくり おもてなしの心

市内には、国の名勝に指定されている知覧武家屋敷群や桜の名所岩屋公園、伊能忠敬が天下の絶景と称賛した番所鼻自然公園など自然豊かな景勝地があり、知覧特攻平和会館の入館者と合わせると年間100万人を超える観光客が訪れています。また、釜の蓋を頭に載せるユニークな参拝方法がメディアで取り上げられたことや口

プロフィール

- ◆ 面積 357.85km²
- ◆ 人口 3万9000人
- ◆ 世帯数 1万7270世帯

〔将来都市像〕自然豊かで創造と活力に満ちくらしといのちが輝くこころやすらぐまち

〔まちの特徴〕県都鹿児島市に隣接し風光明媚で農業の盛んなまち

〔市町村合併〕平成19年12月1日、額娃町、知覧町、川辺町による新設合併



南九州市長
霜出勘平



- 〔特産品〕茶、さつまいも、黒毛和牛、黒豚、鶏卵、寒干根、焼酎、川辺仏壇、茶業機械
- 〔観光〕知覧武家屋敷群、番所鼻自然公園、岩屋公園、夢・風の里アグリランド、大野岳公園
- 〔イベント〕川辺二日市、えい新茶・大野岳マラソン大会、知覧ねぶた祭、えいのゴッソイまつり、小京都ふるさと祭、かわなべ磨崖仏まつり

「お茶むらい」も誕生し、全国へ向けて情報発信をしています。

私は、住んでいる人と訪れる人との交流を大切に、「おでむかえ」と「おもてなし」の気持ち溢れる人づくり、心づくりを進めています。特産のお茶は、古来より「おもてなし」に使われており、お茶の心で、訪れた人が繰り返し訪れたいような魅力あるまちを目指しています。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。